

令和3年度地域少子化対策重点推進交付金(令和3年度補正予算)実施計画書

(都道府県分) 個票

自治体名

安芸市

(都道府県: 高知県)

事業メニュー	重点課題事業		
区分	子育てしやすい社会を実現するための取組		
関連事業メニュー	1.5.1 様々な主体の連携による総合的な機運醸成の取組		
個別事業名	安芸市出逢いコンシェルジュ	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規
実施期間	交付決定日 ~	令和5年3月31日	事業開始年度 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	2,363,600		円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>本市は、昭和35年から人口減少に転じており、平成7年には約200人であった出生数が、令和2年は77人と大幅に減少している。さらに、20~40代の人口は平成17年の4,329人から令和2年には4,223人へと減少しており、今後も出生数が増加に転じることは難しいと言える。</p> <p>加えて、未婚化・晩婚化が進行し、令和2年の50歳時未婚率は男性33.7%(高知県28.0%)、女性22.5%(高知県20.3%)といずれも県平均を上回っている。また、平成17年の平均初婚年齢を見ると、男性は29.2歳、女性は27.7歳であったが、令和元年には男性30.1歳、女性が28.9歳と上昇しており、晩婚化がますます進行している。</p> <p>人口減少、少子化が進行するなか、出生率向上を目的とした有効な施策展開を行うため、平成30年度に県内大学と連携し、少子化をめぐる現状と要因分析を行った。検討のなかで、庁内関連部署間における情報共有が重要であり、各部署との垣根を超えた連携体制の整備が必要であると、令和3年度より少子化対策プロジェクトチームを設置し、少子化問題の解決に向け取り組んでいる。</p> <p>また、安芸市まち・ひと・しごと総合戦略では、人口ビジョンの実現に向けて、人口減対策と社会減対策を基本として、以下の4つの基本目標でまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指している。</p> <p>①産業振興により安定した雇用を創出する ②安芸市へ新しい人を呼び込む ③若い世代が安心して、結婚、出産、子育てができるまちをつくる ④時代に応じた地域社会をつくる</p> <p>本事業は、上記取組の③に該当し、将来のライフステージごとに経済的負担や育児不安を取り除く一連の施策群を展開するなかで、結婚から子育てまでの幅広い取組を一層推進するための事業である。</p>		
(個別事業の内容) ※(注)3	<p>&lt;個別事業における現状と課題&gt; ※新規事業においては記載不要</p> <p>&lt;課題への対応&gt; ※新規事業においては記載不要</p> <p>&lt;取組内容&gt; 「出逢いコンシェルジュ」とは、結婚を希望する男女の出会いイベントの企画・支援を行うとともに、子育て世帯やこれから子どもが生まれる家庭がスムーズに子育て支援サービスを利用できるよう必要に応じた情報提供や相談対応を行う専門相談員である。具体的な業務内容として以下の取組を実施する。</p> <p>【様々な主体による連携、協議の場の形成】 「安芸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で展望する将来人口の実現に向け、関係課長等で構成する庁内組織及び産官学金労が参画する推進委員会による連携・推進体制が構築されている。この推進委員会は、産業界(商工会議所、農業協同組合、森林組合、観光協会等)や行政機関(ハローワーク、高知県)の他、教育機関(高知大学)、金融機関(四国銀行)、市民団体(担い手支援協議会、移住サポーター等)で構成され、年2回の協議の場において本市施策の点検・検証を行うとともに、各団体での取組状況に関する定期的な情報交換に努めるなど、相互の連携が図られている。</p> <p>この枠組みを活用し、本個別事業で掲げる「出逢いコンシェルジュ」についても毎年度PDCAサイクルによる進捗管理を行うとともに、両組織において現状の課題や取組状況等を適宜共有し、より発展的な対策が講じられるよう取り組むものとする。具体的には、若い世代の結婚や出産、子育てについての希望が叶えられる地域づくりを目指して、「出逢いコンシェルジュ」が主体となってライフステージ(仕事、子育て、教育等)毎に関連する各団体間のハブ的役割を担い、不断の連携・協議・調整の場の形成することで、それぞれが抱えるボトルネックを解消し、あらゆる施策に好循環が生み出せるよう取り組むものである。</p> <p>また、県及び市町村で構成される協議会においても自治体間の連携強化を図り、優良事例の横展開を目指す。</p> <p>【取組の推進体制】 全庁的な少子化対策を庁内横断的に検討する組織として、令和3年7月に「安芸市少子化対策プロジェクトチーム」(以下、「PT」)を設置し、令和3年度は国による地域アプローチモデル事業を活用した少子化対策に取り組むなど、本市における推進体制の強化に取り組んでいる。</p> <p>次年度以降においても、このPTを本市少子化対策の総合的な推進機関と位置付け、「出逢いコンシェルジュ」が参画することで推進体制の強化を図る。「出逢いコンシェルジュ」は、上記様々な主体との連携・協議により顕在化した課題等について、PT内で共有して多角的な検証・分析を行い、庁内関係課における調整を促すことで、官民連携の多様な施策立案や新たな主体の参画促進を検討していく。また、コンシェルジュが主体的に実施する出会いイベントや応援企業の掘り起こし等の各種取組についても、PT内で内容を協議・検討し、本市の実情に応じた施策の磨き上げに取り組む。</p> <p>さらには、県と市町村による協議会においても、取組事例の共有や情報交換、先進事例の調査分析など、各自治体の取組を推進し、県域全体での機運醸成を目指す。</p>		

個別事業の内容

【地域における機運の醸成】

生涯学習の一環として、市民の知識や教養の向上を図り、心身ともに豊かな人づくりを目指すことを目的とした「安芸市夏季大学講座」を毎年度開催し、健康や人権、防災など様々な分野をテーマにした講演を行っている。(会場:安芸市民会館ホール、容席数:641席)

「出逢いコンシェルジュ」が主体的に取り組む上記取組結果等を踏まえ、この夏季大学講座の一講座として、令和5年度に少子化・未婚化の課題や市の現状などについて広く市民に周知・広報を図る講演会(フォーラム)の開催を予定している。令和4年度は「出逢いコンシェルジュ」が上記推進委員会構成団体や関係機関との連携・調整を図って緊密な協働体制を構築し、市民参加型のフォーラム開催を通じて、地域全体の機運醸成に取り組むものである。

また、本市では、子育て支援や少子化に取り組む企業や個人を広報紙及びホームページ上で定期的に紹介しており、今後も引き続き、少子化対策推進に向けた地域や社会全体でのマインド喚起を目指す。

【その他、出逢いコンシェルジュが実施する取組】

<出会い分野>

- 出会いイベントに係る業務
  - ・本市で開催している出会いイベントへの参画
  - ・新規出会いイベントの企画・実施(趣味コン、25歳同窓会等)
- 婚活サポーターに係る業務
  - ・市内婚活サポーターの組織化
  - ・婚活サポーターの人材発掘
- 出会いサポートセンターに係る業務
  - ・出張登録会及び相談会の開催
  - ・マッチング会場の発掘
  - ・マッチングイベントの企画・実施
- 高知家の出会い・結婚・子育て応援団に係る業務
  - ・応援団に参画する企業の発掘
  - ・「高知家出会い・結婚・子育て応援フォーラム」への企業参加呼びかけ
  - ・応援団と連携したイベントの企画・実施
  - ・応援団に対する育休推進の働きかけ

<子育て分野>

- 子育て応援サービスに係る業務
  - ・子育て支援制度の紹介
  - ・子育て支援担当部署との連携
- 育児休業取得の促進に係る業務
  - ・育児休業に対する意識の醸成
  - ・育児休業取得の働きかけ

【次年度以降に向けた事業の方向性】

令和4年度より市企画調整課内に「出会いコンシェルジュ」を配置予定。担当には、子育てを経験しており、イベントの企画立案から実施に至るまで積極的に参画することが期待される会計任用職員を配置する。

【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】

- 高知県「移住・交流コンシェルジュ」
- 千葉県旭市「旭市出会いコンシェルジュ」

【事業実施にあたっての留意点】

本事業の実施にあたっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。

事業内容	KPI項目		単位	目標値	現状値
	少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	平均初婚年齢(男性)	歳	30.7(令和6年)	30.1(令和元年)
	平均初婚年齢(女性)	歳	27.5(令和6年)	28.9(令和元年)	
	合計特殊出生率	%	1.80(令和6年)	1.44(令和2年)	
参考指標 ※(注)5 (出典:高知県「健康づくり支援システム」)	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率		%	1.44(令和2年)	
	婚姻件数		件	47(令和2年)	
	婚姻率		%	2.9(令和2年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	〈アウトプット〉				
	出会いイベントの開催【累計】		件	10(令和4~8年)	1(令和3年)
	マッチングサポーターの人材発掘		人	1(令和4年)	0(令和3年)
	お引合せ会場の発掘		か所	1(令和4年)	0(令和3年)
	出張登録会及び相談会の開催		件	1(令和4年)	0(令和3年)
	高知家の出会い・結婚・子育て応援団の発掘【累計】		団体	10(令和4~8年)	0(令和3年)
	高知家出会い・結婚・子育て応援フォーラムへの企業参加呼びかけ		団体	3(令和4年)	0(令和3年)
	高知家出会い・結婚・子育て応援フォーラムへの参加者確保		人	5(令和4年)	0(令和3年)
	地域の連携体制に参画する企業・団体数		団体	10(令和4~8年)	0(令和3年)
	フォーラム等参加者数		人	200(令和4~8年)	0(令和3年)
	募集定員に対する参加者の割合		%	50(令和4~8年)	0(令和3年)
	〈アウトカム〉				
	出張登録会及び相談会への参加者の満足度		%	70(令和4年)	0(令和3年)
	フォーラム等参加者の意識変容・行動変容等(アンケート回答)		%	50(令和4~8年)	0(令和3年)

他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	本個別事業による「出逢いコンシェルジュ」を配置することで、これまで連携が不十分であった「こうち出会いサポートセンター」(県)や「中央東部地区少子化対策連絡協議会」(安芸市を含む4市連携)、婚活サポーター等との連携を密にし、情報共有を図りながら総合的な少子化・未婚化対策に取り組む。
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	本個別事業により、市内外の「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」(出会いを希望する独身者を応援する企業や団体等)との情報共有や相互協力により、出会いや結婚を応援する地域づくりに向けた機運醸成を図る。
委託契約の有無 ※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合のみ記載	無
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無

(注)

- 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
- 2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付けを記載すること。
- 3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的な内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。
  - ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。
- 4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和4年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。
- 5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。
- 6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。
  - ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
  - ※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
- 7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。